



04

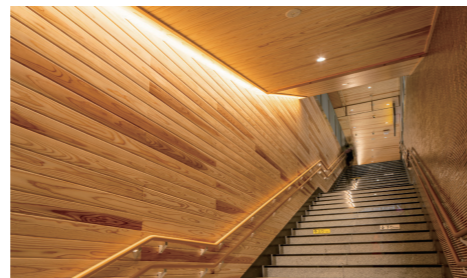
奨励賞 東急池上線池上駅

受賞者
 施主 東急電鉄株式会社
 設計者 株式会社東急設計コンサルタント
 施工者 東急建設株式会社

池上駅は約100年前に池上本門寺への参拝客の輸送を目的に開業した。構内踏切は橋上駅舎化で解消し、南口や自由通路の新設でまちの分断解消を実施した。駅舎デザインは地域特性にあった「門前町」をイメージし、多摩産材の積極的な活用により木の温かみを感じられる空間を演出した。地元の方にも愛された旧駅舎の古材「えきもく」を活用した地域連携を積極的に仕掛け、ベンチ制作のワークショップやホームベンチの自作キット配布を行うとともに、行政施設や駅ビルの共用部、テナント内でも姿を変えて活用している。



壁・天井に木を使用しヒューマンスケールで温かみのあるホーム



ホームからコンコースまで連続する木質空間



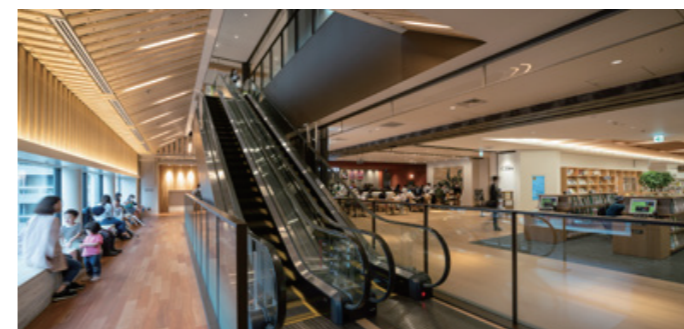
ホルーバーを配し視線を制御したコンコースのトイレ



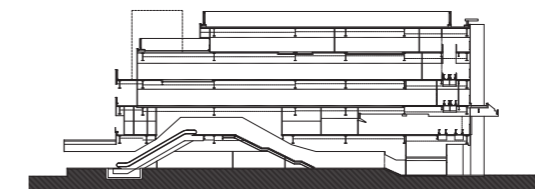
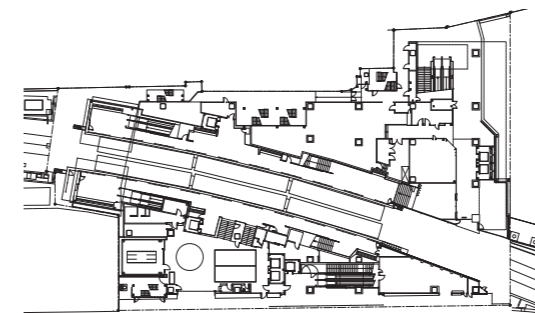
温かみのある灯りを配し行燈照明がまちを照らす外観



庇の軒裏の木とホルーバーが木の温かみ強調する池上仲見世



ホルーバーに囲まれ、まちの居間として機能する窓辺のベンチ



図面1/1400

みんなのえきもくプロジェクト

旧木造駅舎の解体工事で発生する廃材処理時のCO2削減に向け、工事で発生した「えきもく（旧駅舎の古材）」を再活用する取組みを実施した。「えきもく」にてベンチ制作のワークショップ実施やホームベンチの自作キット配布も実施し、地域行政施設や駅ビルの共用部やテナント内でも姿を変えて活用している。



えきもくで旧駅舎のベンチを復元したコンコースのメモリアルコーナー



えきもくを使用したテナント（池上図書館）内の内装



えきもくを使用したベンチ制作のワークショップ

受賞概要・講評

大田区に所在する東急池上線池上駅の駅舎改良工事。多摩産材のスギでホーム壁・天井を覆い、池上線の特徴である木造駅舎の記憶を継承している。また上階の商業エリアにも木材を活用し、駅と一続きの空間となるようデザインしている。

本作品については「駅全体でデザインに統一性があり、心地よい空間となっている点」「木の板張りによる印象変化は、他の駅舎でも導入しやすい点」等が評価された。